

デビッド・ニューベリー博士 ご略歴



1988年よりケンブリッジ大学応用経済学部教授、1988-2003年にかけて同大学経済学部長を務め、現在は同大名誉教授。1981-1983年、世界銀行で公共経済部門のチーフに任じられたほか、エール、スタンフォード、プリンストン大学等の客員教授も歴任。

経済理論、とくにエネルギー政策、公益事業の民営化、構造改革、電気・ガス、通信等公共ネットワーク産業の規制といった分野の専門家で、英国およびEUにおける電力・ガス産業の民営化や規制のあり方を理論面で主導してきた。

現在も電力・ガスの民営化と規制に関する英ケンブリッジ大学と米国MITとの共同研究プロジェクトのリーダーを務めている。

このほか1996年には欧州経済協会会長、1977-2000年の間 *The Economic Journal* の編集委員を務め、国際エネルギー経済学会 (IAEE) の次期会長に内定している。

1966-2002年、英国政府の独占合併委員会（現：競争委員会）委員を務めたほか、環境食料地域省 (DEFRA) の環境経済学術パネル委員、オランダ電力市場監視委員会委員長などの現職でもある。